

平成30年度 夢づくり地域交付金 ステップアップ事業

～ 大湫宿古民家再生活用事業 成果報告 ～

再生後の旧小木曾邸(米屋)

大湫町コミュニティ推進協議会

大湫宿古民家再生活活用事業成果報告の要点

1. 大湫宿古民家再生活活用事業方針の協議
2. 活動内容のタイムスケジュール
3. 古民家再生ボランティア隊の編成
4. 古民家の整理・ゴミ出し作業
5. 屋根改修工事
6. 取り壊し・トタン塗装などできることは町民で
7. 第1回古民家再生塾の取り組み
8. 地元芸術家による懇談会とフリーペーパーの発行
9. ホームページ・広報誌での活動PR
10. 古民家活用事業者の転入と今後の取り組み

1. 大湫宿古民家再生活用事業方針の協議

- 大湫町コミュニティ推進協議会では、旧中山道の宿場町という歴史的遺産を、地域の個性ある魅力として守り後世に活かすため、宿保全員会・景観協議会を組織し、大湫宿の家並の保全活用を図る取り組みを進めています。
- 数年前に空き家となり区長会が寄付により取得した旧小木曾邸(米屋)について、市より古民家再生促進モデル建築物の認定を受け、活用事業者が公募決定されました。
- コミュニティ推進協議会では活用事業者とともに幹事会議を重ね、
 - ①宿場の街並みや景観を維持するためには重要な建物であること
 - ②人口減少に対応するため活用事業者の移住を可能にすること
 - ③建物の保全活用のためには屋根の改修が最優先であること等を考慮し、夢づくり交付金(ステップアップ事業)を活用して取り組むことといたしました。



幹事会協議風景

2. 活動内容のタイムスケジュール

- ①整備活用方針の検討
- ②建物の整備補修箇所の点検
- ③家財の整理(ボランティア作業)
- ④不要物の破棄(ボランティア作業)
- ⑤建物内外の清掃(ボランティア作業)
- ⑥屋根改修工事施工業者の選定
- ⑦屋根改修工事発注・着工
- ⑧旧トイレの取り壊し・側面トタン塗装作業(ボランティア作業)
- ⑨屋根改修工事完成検査
- ⑩第1回古民家再生塾の開催
- ⑪随時内装及び上下水工事(活用事業者)
- ⑫第1回フリーペーパー編集発行(地元芸術家集団)
- ⑬活用事業者の移住並びに活動実践

3. 古民家再生ボランティア隊の編成



草刈りボランティア隊作業

4. 古民家の整理・ゴミ出し作業



ゴミ出し作業

5. 屋根改修工事

屋根の改修にあたっては、

- ①宿場町の風情にマッチしていること
- ②隣接の「面高屋」と材質を合わせること
- ③越し屋根など旧形式を継続することを考慮。



屋根改修工事



屋根改修工事

6. 取り壊し・トタン塗装などできることは町民で



トタン塗装工事

7. 第1回古民家再生塾の取り組み



古民家再生塾

8. 地元芸術家による懇談会とフリーペーパーの編集発行



芸術家懇談会の様子

フリーペーパー第1号



OKUTE
大 湫

大原（おおくわて）
宿は、中山道四十七
番目の宿場町として
慶長九年（一六〇三
年）に設置された。宿
町で、二丁、三丁、四
丁の八丁の小さな宿
町だが、近年修繕中
人口が急激に増加し
内市域となつたといふ。
それと関係があるの
がまほしき屋敷扶持
の光を結びつつある
のが定説である。三十九
年前から始まつた移住
支援やキャンプ場の
設置、みんなの農園
や里山の整備、古民家
の活用、もともと地
域の誇りやお祭りな
ど盛りだくさん。宿
町の活動も若者など
多岐多岐と進んで
見えてきた。三十三
三十三番、三十四二
人増減市大原町の今
とこれからを読み解

尾立 亘 大塚町区商會員



色々な、
ちょうどいい

豊後市の中で昔から大瀬町はある意味ハイオニアとして
の役割を得ていた。色々な活動に、町をあげて取り組む姿
は今も昔も同じだ。人口も00人にも満たない小さな町で
は今も賑やかなことが起っている。中山道の宿場町として
、景観保全への取り組み、これまでの建物の使いかたとは
異なる古民家再生、移住者を受け入れサポートする取り組み
、そのほかにも、クラフトフェアや伝統ある神事など一
年を通して盛りだくさんだ。これらのことを含みわたりとや
っての大瀬町の人口、人と自然が程よく「わ」を満すこ
の町のちようどういふを考える。

[illegible][illegible]

主編
向井 一雄
大原町221-31
0572-63-2556



梅 考

焼き物が盛んな岐阜県東濃地方。その東に位置する大湫町にもたくさんの陶芸家が暮らしている。最近、陶芸家だけでなく様々なクリエイティブな仕事をする人が集まってきている。人口500人ほどの小さな町の中に20人近い作り手たち。数少ない大湫は彼らにどのようなインスピレーションを与えているのか。そんな作り手たちを一同にご紹介！

※大湫町並むすべの物語を掲載している記事はすべてではありません。

多大運動量往々のすべての作業を遂行しているわけではありませぬ。

秋山夫妻のアトリエ風景



1 座ることの多いころの顔には脂が広がる。集中できる環境
2 机を待つ作品が所狭しと並び、整理されたアトリエの様子
3 作家の人格が滲み出る。 3 日の往を見ることがなかった
品たち。どれだけの経緯を辿っても、これらはなくなることはない
4 主人がセルフビルドで作った工房。メタセコイヤ
樹しい木漏れ日を浴び出す。



大湫の作る手達



向井 一峰 Ippou Mukai
 素からいへと、深奥しすぎない下絵が
 心地よい、安楽手の傑作。

尺貫画 大判冊121-01 (573-63-2506)



手嶋 敦 Atushi Teshima
クリスタルグレイズ（結晶釉）は、従来の釉料を求めて継続的な調査と開発活動の管理から生まれる。



作曲家
手嶋 優子 Yuko Teshima
お姉の表情を模したドットを盛り付け
られたギフト。豊饒と恵んだドットは
豪華なお姉をいっそう引き締める。

Page 10 of 10

TILE made

オーダーメイドタイルの専門店。実店舗も行う。産地ならではの技術力から生まれるタイルは個性豊かな空間を演出する。



作家
秋山 佳吾 Keigo Akiyam
反戦を主とした作品はおおらかな気持
とシャープな造形が特徴的。戦時
に流れる血を鮮やかなピンクで表
した傑作。



秋山 仁恵 Hito Akiyama
動物をモチーフとした陶の人間を中心
に制作。動物から学ぶ自然の優しい関係
は作家の人間性をよく表している。



陶芸家
渡邊 大和 Yamato Watanabe
素朴なイメージの作品は、機利な印象を
与える構図が見られる。美しい光沢の
使用で作られる作品は驚嘆のうちにもち
びく。



天野 裕夫 Hiro Amano

wtunabwamata2016@gmail.com

9. ホームページ・広報誌での活動PR

< 広報大湫 3月号より >

米屋側面塗装作業 2/21(木)

「夢づくり交付金事業(ステップアップ)」に採用されて「米屋」の屋根瓦が葺き替えられましたが、切妻造りとなっている側面のトタン(白色)を街並みに相応しい景観にするため、黒色に衣替えされました。この塗装作業は、町民有志の方々によって2月21日(木)に行われました。参加していただきました皆さん、お疲れ様でした。



大湫町コミュニティ推進協議会ホームページ



(<http://okute-shuku.jp>)

10. 古民家活用事業者の転入と今後の取り組み

古民家活用事業者である田村夫妻には、すでに大湫町内のイベントや奉仕作業、親睦行事など積極的に参加をいただいておりますが、この9月には住民として転入され、「米屋」の活用が本格的に始まります。



古民家活用事業者の田村夫妻

平成30年度 夢づくり地域交付金
ステップアップ事業

～ 大湫宿古民家再生活活用事業 成果報告 ～

完

大湫町コミュニティ推進協議会